

## 第 24 回 NPO 法人がんのこどものトータルケア研究会静岡 演題募集のお知らせ

師走の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

次回 NPO 法人がんのこどものトータルケア研究会の案内をさせていただき運びとなりました。

今回は静岡県立こども病院が世話人となり、静岡市内にある常葉大学水落キャンパスにて上記研究会を 2020年2月15日(土) に開催いたします(時刻の詳細は未定ですが、正午過ぎより総会を先行開始し、本会を夕方まで開催予定と考えております)。前回、先々回のトータルケア研究会では、AYA 世代患者さんや、AYA 世代を迎えた小児がん経験者さんへのココロとカラダの支援について、いろいろな職種、立場の皆さんと一緒にディスカッションを行いました。大勢の参加を賜り、この領域の関心の高さがうかがえました。今回のテーマを考えるに際し、このように皆さまが「興味がある」「対応に難渋している」「他の人はどうしているか知りたい」と考える内容にはどんなことがあるか検討した結果、第 24 回はテーマを・・・

### 「成長発達途上の小児がん患者が抱える治療の先にあるものとその支援」

としました。小児がん治療を受ける患者さんは、皆「成長発達途上である」という特徴があります。ココロもカラダも未成熟な患者さんにとってがん治療は、身体、精神、心理社会的に大きな影響を与えます。「病気を治す」治療の先にある、成長発達問題、社会復帰問題、きょうだいを含む家族ケアなど、影響や問題は実に多様です。また治療を終えてからも、晩期合併症、就労進学問題、自立/自律問題など、治療の先にある問題は、複雑に絡み合い潜伏あるいは長期化することがあります。そこで、成長発達途上に治療を受ける小児がん患者さんに対する、治療の先にある問題やその支援について、様々な立場の皆さんと一緒にディスカッションできればと考えております。

今回の特別講演は、大阪市立総合医療センター小児神経科・小児言語科の温井めぐみ先生にお願いしております。温井先生には、脳腫瘍を始めとする小児がん患者の高次脳機能障がい、リハビリテーションに関して、幅広いご経験をお話ししていただく予定です。

演題募集は下記日程で行います。今回は総会もおこないますので、プログラム上一般演題を 4 演題とさせていただきます。職種問わず幅広く演題を募集いたしますので、ぜひ演題発表をお考えの方はご連絡ください。なお、演題多数となった場合は、当方で採択させていただきます旨、ご了承ください。

演題募集 2019年12月2日～2020年1月10日

連絡先 静岡県立こども病院 がん化学療法看護認定看護師 加藤 由香

yuka-kato@i.shizuoka-pho.jp

第 24 回 NPO 法人がんのこどものトータルケア研究会静岡 世話人  
代表 静岡県立こども病院 血液腫瘍科科長 渡邊 健一郎  
事務担当 同 看護部 がん化学療法看護係長 加藤 由香